

令和6年度 施策満足度 分析結果

【報告概要】

「令和6年度 満足度調査」として、「長崎市第五次総合計画」における「まちづくりの方針」について、基本施策39項目についての現状における満足度の調査を実施しており、その結果の全体は、「施策満足度クロス集計結果」に示す通りですが、各施策に対する満足度の定量的分析を実施したので報告します。

【アンケート内容】

●調査項目：下記の39項目

まちづくりの方針		基本施策
A	私たちは「独自の歴史・文化を活かし、多様な交流と満足を生み出すまち」をめざします	A1～A3：3項目
B	私たちは「平和を愛し、平和の文化を育むまち」をめざします	B1～B3：3項目
C	私たちは「人や企業に選ばれ、産業が進化し続けるまち」をめざします	C1～C5：5項目
D	私たちは「環境と調和した持続可能なまち」をめざします	D1～D4：4項目
E	私たちは「だれもが安全安心で快適に暮らし続けられるまち」をめざします	E1～E8：8項目
F	私たちは「みんなで支え合い、だれもが健康にいきいきと暮らせるまち」をめざします	F1～F9：9項目
G	私たちは「未来を創る人を育み、だれもが学び、楽しみ続けられるまち」をめざします	G1～G4：4項目
H	私たちは「参画と協働によるまちづくりと確かな行政経営を進めるまち」をめざします	H1～H3：3項目

●調査内容：現状の満足度を下記の評価で回答願う

回答番号	現状の満足度
1	満足している
2	どちらかといえば満足している
3	普通である
4	不満である
5	どちらかといえば不満である
6	わからない

※アンケートの結果は「施策満足度 クロス集計結果」に示す通りです。

※基本施策39項目の全てにおいて「3：普通である」が最多回答となっている。

【満足度の分析方法について】

満足度の定量的な評価は、回答番号に対する、回答数の荷重平均値により実施した。

$$\text{満足度} = \frac{\sum (\text{回答番号} \times \text{回答数})}{\text{回答数の合計値}}$$

分析には、「6：わからない」を除いた、1～5の回答について、上式により加重平均値を求め、満足度と定義した。

この結果が、3より大きいほど「不満」、小さいほど「満足」と評価することができる。

分析に用いたデータ数（6を除く回答数）は、下表の通りです。

まちづくりの方針		基本施策	回答数
A	独自の歴史・文化を活かし、多様な交流と満足を生み出すまち	A1 地域の個性を守り、活かし、伝えます	588
		A2 交流のための都市機能を高め、賑わいを創出し観光まちづくりを進めます	597
		A3 国際性を豊かにします	573
B	平和を愛し、平和の文化を育むまち	B1 被爆の実相を継承します	629
		B2 核兵器廃絶の実現に向け、着実に歩みを進めます	625
		B3 平和の文化を醸成します	620
C	人や企業に選ばれ、産業が進化し続けるまち	C1 地場事業者の成長を支援します	545
		C2 人や企業を呼び込み、新たな事業を創出して、産業を強くします	581
		C3 次世代につながる農林業を育てます	535
		C4 水産産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします	557
		C5 地元農水産物の消費を拡大します	578
D	環境と調和した持続可能なまち	D1 脱炭素社会の実現をめざします	534
		D2 資源を守り大切に社会の実現をめざします	557
		D3 豊かな地域環境を守り活かします	566
		D4 環境意識・行動の定着を図ります	545
E	だれもが安全安心で快適に暮らし続けられるまち	E1 地域の連携・協力を促進し、防災体制の充実を図ります	598
		E2 犯罪、交通事故のない地域づくりを進めます	618
		E3 安心できる消費生活環境をつくります	599
		E4 暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します	588
		E5 安全・安心で快適な住環境をつくります	602
		E6 車や公共交通による移動の円滑化を図ります	621
		E7 安全・安心で快適な道路・公園をつくります	616
		E8 水道水を安定して供給し、下水を適正に処理します	612
F	みんなで支え合い、だれもが健康にいきいきと暮らせるまち	F1 人権が尊重され、様々な分野で男女が参画するまちをめざします	585
		F2 高齢者が安心して自分らしい暮らしを続けられる地域づくりを進めます	601
		F3 障害者が安心して自分らしく暮らせるまちづくりを進めます	561
		F4 子どもをみんなで育てる子育てしやすいまちづくりを進めます	581
		F5 原爆被爆者の援護を充実します	573
		F6 生活困窮者等が将来への希望を持てる支援を充実します	544
		F7 自らすすめる健康づくりを推進します	575
		F8 安心できる衛生環境を確保します	593
		F9 安心できる医療環境の充実を図ります	602
G	未来を創る人を育み、だれもが学び、楽しみ続けられるまち	G1 長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます	572
		G2 だれもが生涯を通じていきいきと学べる社会をつくります	586
		G3 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります	581
		G4 芸術文化あふれる暮らしを創出します	576
H	参画と協働によるまちづくりと確かな行政経営を進めるまち	H1 市民との良好なコミュニケーションを図ります	573
		H2 参画と協働による持続可能なまちづくりを進めます	566
		H3 市民に信頼される市役所にします	597

【分析結果】

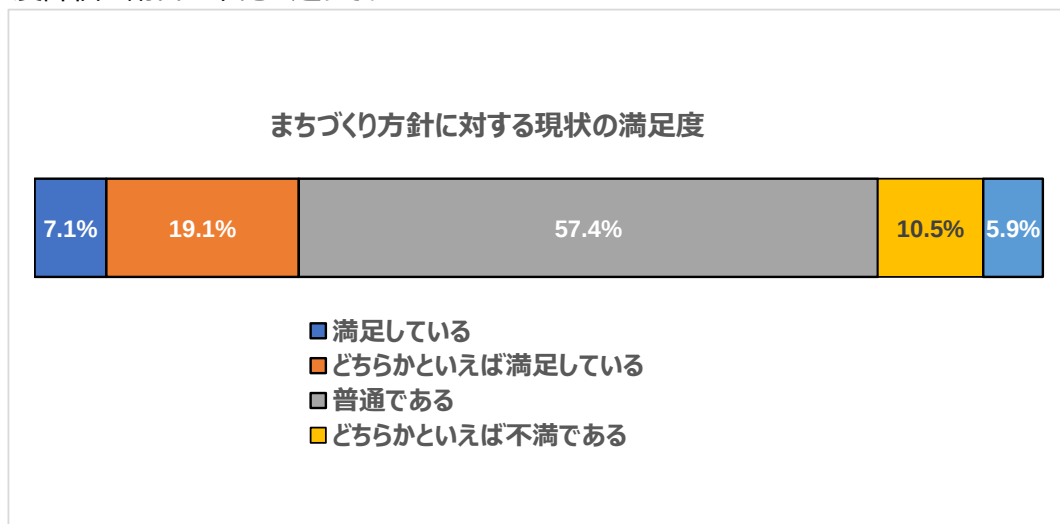
①全体の満足度分析結果

まちづくりの方針A～H全体の満足度分析結果は、下記の通りです。

基本施策に対する現状の満足度		回答数	満足度
1	満足している	1,616	2.89
2	どちらかといえば満足している	4,345	
3	普通である	13,063	
4	どちらかといえば不満である	2,378	
5	不満である	1,348	

満足度は、「2.89」で、「普通である」よりも、若干ではあるが「どちらかといえば満足している」側であると評価される。

満足度評価の割合は下記の通りです。

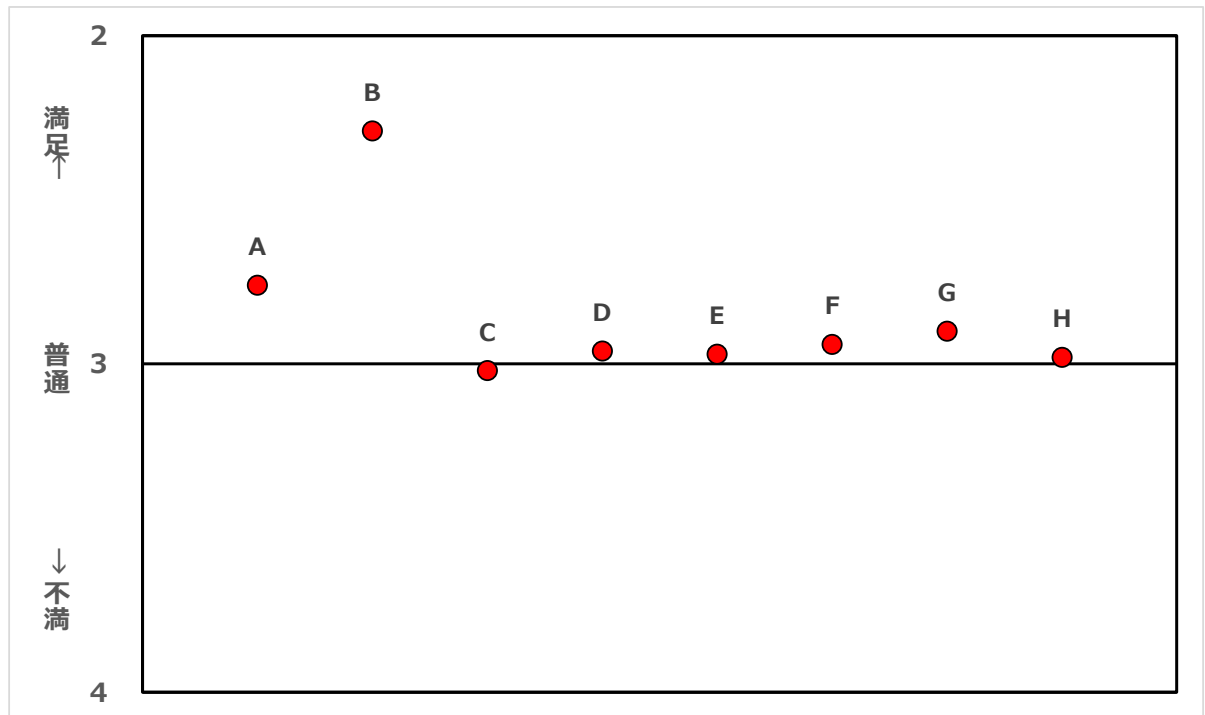


②まちづくりの方針A～H毎の分析結果

まちづくりの方針A～H毎の満足度分析結果は、下記図及び表の通りです。

全体的に「普通」をやや上回り、「どちらかといえば満足」側となっており、「B：平和の文化を育む町」が一番満足側にあり、「A：多様な交流と満足を生み出すまち」が続いています。

一方、「C：人や企業に選ばれ、産業が進化し続けるまち：に関しては「普通」をやや下回り、「どちらかといえば不満」側で。評価が低くなっています



まちづくりの方針A～Hの満足度の具体的数値及び順位（満足側から）は下記の通りです。

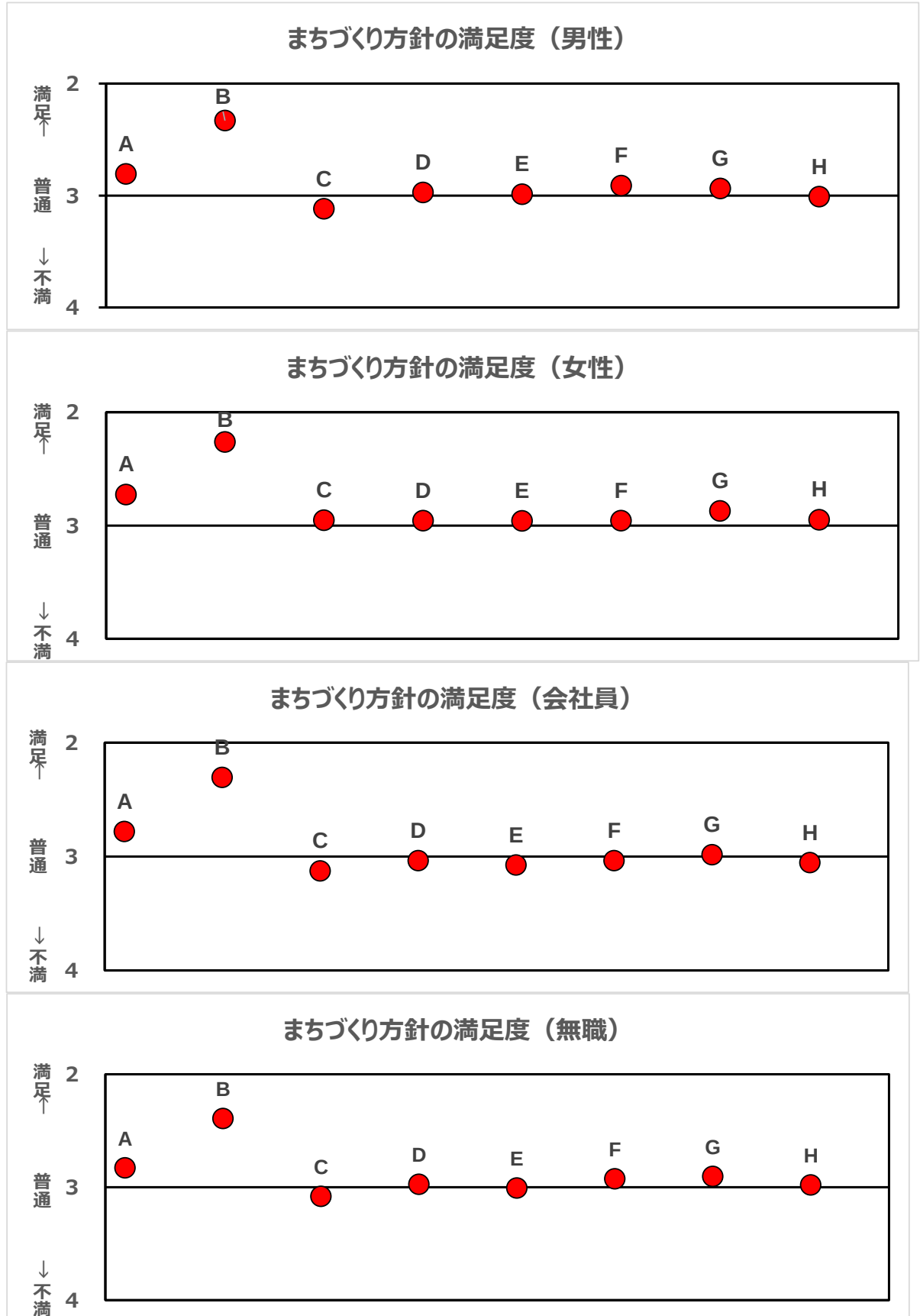
まちづくりの方針		満足度	順位
A	私たちは「独自の歴史・文化を活かし、多様な交流と満足を生み出すまち」をめざします	2.76	2
B	私たちは「平和を愛し、平和の文化を育むまち」をめざします	2.29	1
C	私たちは「人や企業に選ばれ、産業が進化し続けるまち」をめざします	3.02	8
D	私たちは「環境と調和した持続可能なまち」をめざします	2.96	5
E	私たちは「だれもが安全安心で快適に暮らし続けられるまち」をめざします	2.97	6
F	私たちは「みんなで支え合い、だれもが健康にいきいきと暮らせるまち」をめざします	2.94	4
G	私たちは「未来を創る人を育み、だれもが学び、楽しみ続けられるまち」をめざします	2.90	3
H	私たちは「参画と協働によるまちづくりと確かな行政経営を進めるまち」をめざします	2.98	7

②回答者の属性を考慮したまちづくりの方針A～H毎の分析結果

今回の調査では、有効回答数が500～600程度と、やや少なかったため、ある程度の母集団を確保でき、かつ対照的な属性である下記の比較分析を行った。

●性別：男性 — 女性 ●職業：会社員 — 無職

結果は、記の通りで、B、Cの満足度にやや差異が見られる以外は、大差ない結果であった。



④基本施策39項目毎の分析結果

基本施策39項目毎の満足度評価は下記のとおりです。

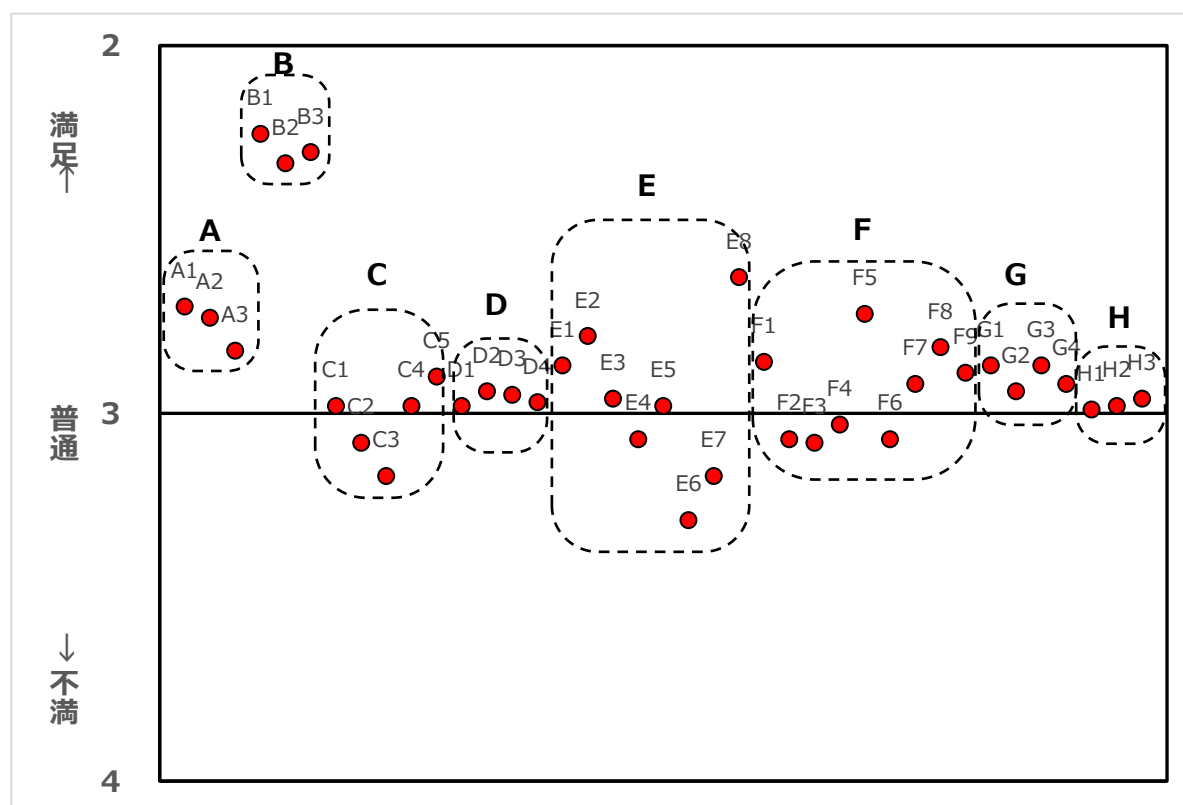
「B：平和を愛し、平和の文化を育むまちづくり」は各基本施策共に満足度が上位で、特に、「B1：被爆の実相継承」が評価されています。

「A：独自の歴史・文化を活かし、多様な交流と満足を生み出すまちづくり」は、「普通である」よりも若干ではあるが満足側であり、「D：環境と調和した持続可能なまちづくり」、「G：未来を創る人を育み、だれもが学び、楽しみ続けられるまちづくり」、「H：参画と協働によるまちづくりと確かな行政経営を進めるまちづくり」も、Aよりは低いものの、普通程度の評価を受けています。

一方、「E：だれもが安全安心で快適に暮らし続けられるまちづくり」は評価のばらつきが大きく、「E2：犯罪、交通事故のない地域づくり」、「E8：水道水を安定して供給し、下水を適正に処理」は満足側の評価であるものの、「E6：車や公共交通による移動の円滑化」、「E7：安全・安心で快適な道路・公園をつくり」は不満側の評価となっています。

「E：だれもが安全安心で快適に暮らし続けられるまちづくり」も同様で、「F5：被爆者援護」は満足側の評価であるものの、「F6：生活困窮者」、「F3：障害者」、「F2：高齢者」も支援に関しては、不満側の評価となっています。

「まちづくり方針」毎の評価で、唯一不満側であった「C：人や企業に選ばれ、産業が進化し続けるまちづくり」では、「C3：次世代につながる農林業育成」、「C2：企業誘致と新事業の創出」の不満度が高い傾向にあります。



基本施策A1～H3までの計39項目についての満足度の具体的数値及び順位（満足側から）は次頁に示す表の通りです。

基本施策		満足度	順位
A1	地域の個性を守り、活かし、伝えます	2.71	5
A2	交流のための都市機能を高め、賑わいを創出し観光まちづくりを進めます	2.74	7
A3	国際性を豊かにします	2.83	10
B1	被爆の実相を継承します	2.24	1
B2	核兵器廃絶の実現に向け、着実に歩みを進めます	2.32	3
B3	平和の文化を醸成します	2.29	2
C1	地場事業者の成長を支援します	2.98	25
C2	人や企業を呼び込み、新たな事業を創出して、産業を強くします	3.08	35
C3	次世代につながる農林業を育てます	3.17	37
C4	水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします	2.98	25
C5	地元農水産物の消費を拡大します	2.90	16
D1	脱炭素社会の実現をめざします	2.98	25
D2	資源を守り大切に社会の実現をめざします	2.94	19
D3	豊かな地域環境を守り活かします	2.95	21
D4	環境意識・行動の定着を図ります	2.97	24
E1	地域の連携・協力を促進し、防災体制の充実を図ります	2.87	12
E2	犯罪、交通事故のない地域づくりを進めます	2.79	8
E3	安心できる消費生活環境をつくります	2.96	22
E4	暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します	3.07	32
E5	安全・安心で快適な住環境をつくります	2.98	25
E6	車や公共交通による移動の円滑化を図ります	3.29	39
E7	安全・安心で快適な道路・公園をつくります	3.17	37
E8	水道水を安定して供給し、下水を適正に処理します	2.63	4
F1	人権が尊重され、様々な分野で男女が参画するまちをめざします	2.86	11
F2	高齢者が安心して自分らしい暮らしを続けられる地域づくりを進めます	3.07	32
F3	障害者が安心して自分らしく暮らせるまちづくりを進めます	3.08	35
F4	子どもをみんなで育てる子育てしやすいまちづくりを進めます	3.03	31
F5	原爆被爆者の援護を充実します	2.73	6
F6	生活困窮者等が将来への希望を持てる支援を充実します	3.07	32
F7	自らすすめる健康づくりを推進します	2.92	17
F8	安心できる衛生環境を確保します	2.82	9
F9	安心できる医療環境の充実を図ります	2.89	15
G1	長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます	2.87	12
G2	だれもが生涯を通じていきいきと学べる社会をつくります	2.94	19
G3	スポーツ・レクリエーションの振興を図ります	2.87	12
G4	芸術文化あふれる暮らしを創出します	2.92	17
H1	市民との良好なコミュニケーションを図ります	2.99	30
H2	参画と協働による持続可能なまちづくりを進めます	2.98	25
H3	市民に信頼される市役所にします	2.96	22

参考【基本施策毎のポイント分析】

回答数の荷重平均値による評価に加え、下記の方法による満足度ポイント（PT）評価も実施した。

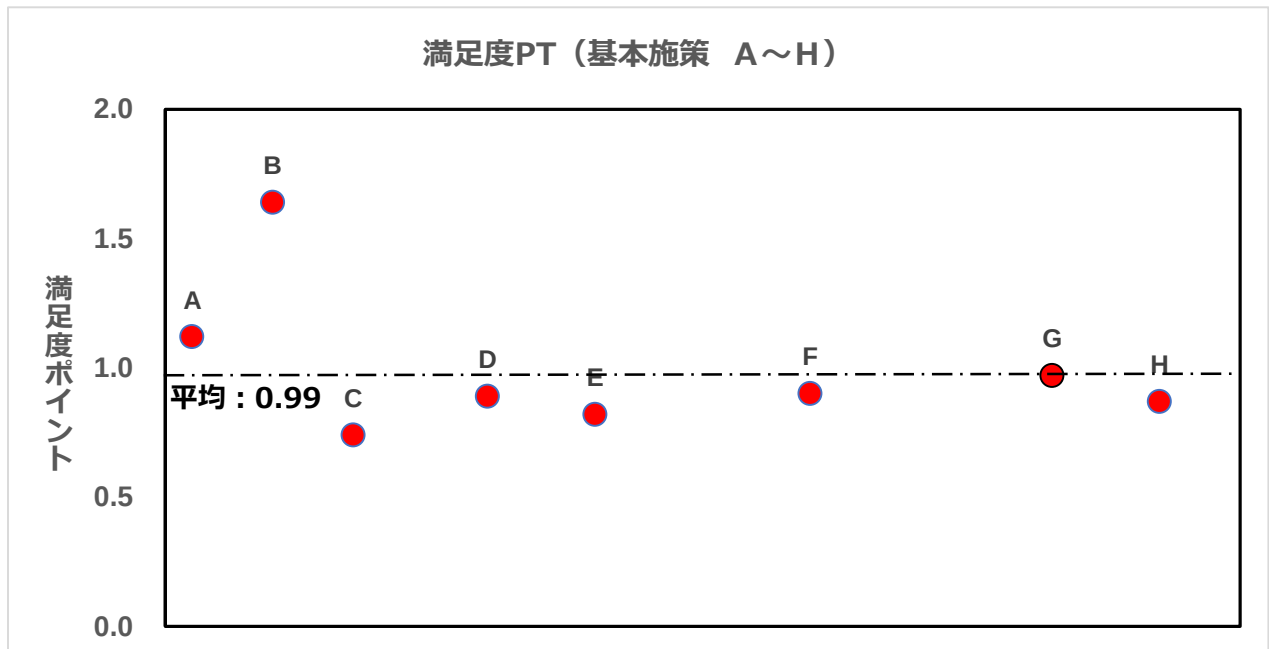
$$\text{満足度PT} = \frac{(\text{満足} \times 3) + (\text{まあ満足} \times 2) + (\text{普通}) - (\text{やや不満}) - (\text{不満} \times 2)}{\text{回答数の合計値}}$$

結果は、下記に示す通りです。

基本施策		満足度PT	
		施策毎	施策平均
A1	地域の個性を守り、活かし、伝えます	1.19	1.12
A2	交流のための都市機能を高め、賑わいを創出し観光まちづくりを進めます	1.13	
A3	国際性を豊かにします	1.04	
B1	被爆の実相を継承します	1.69	1.64
B2	核兵器廃絶の実現に向け、着実に歩みを進めます	1.59	
B3	平和の文化を醸成します	1.65	
C1	地場事業者の成長を支援します	0.80	0.74
C2	人や企業を呼び込み、新たな事業を創出して、産業を強くします	0.63	
C3	次世代につながる農林業を育てます	0.54	
C4	水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします	0.81	
C5	地元農水産物の消費を拡大します	0.92	
D1	脱炭素社会の実現をめざします	0.87	0.89
D2	資源を守り大切に社会の実現をめざします	0.92	
D3	豊かな地域環境を守り活かします	0.90	
D4	環境意識・行動の定着を図ります	0.88	
E1	地域の連携・協力を促進し、防災体制の充実を図ります	0.98	0.82
E2	犯罪、交通事故のない地域づくりを進めます	1.08	
E3	安心できる消費生活環境をつります	0.85	
E4	暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します	0.70	
E5	安全・安心で快適な住環境をつります	0.85	
E6	車や公共交通による移動の円滑化を図ります	0.33	
E7	安全・安心で快適な道路・公園をつります	0.53	
E8	水道水を安定して供給し、下水を適正に処理します	1.28	
F1	人権が尊重され、様々な分野で男女が参画するまちをめざします	1.09	0.90
F2	高齢者が安心して自分らしい暮らしを続けられる地域づくりを進めます	0.69	
F3	障害者が安心して自分らしく暮らせるまちづくりを進めます	0.68	
F4	子どもをみんなで育てる子育てしやすいまちづくりを進めます	0.76	
F5	原爆被爆者の援護を充実します	1.16	
F6	生活困窮者等が将来への希望を持てる支援を充実します	0.71	
F7	自らすすめる健康づくりを推進します	0.97	
F8	安心できる衛生環境を確保します	1.08	
F9	安心できる医療環境の充実を図ります	0.96	
G1	長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます	1.01	0.97
G2	だれもが生涯を通じていきいきと学べる社会をつります	0.91	
G3	スポーツ・レクリエーションの振興を図ります	1.01	
G4	芸術文化あふれる暮らしを創出します	0.94	
H1	市民との良好なコミュニケーションを図ります	0.86	0.87
H2	参画と協働による持続可能なまちづくりを進めます	0.88	
H3	市民に信頼される市役所にします	0.88	
平 均 値		0.94	0.99

基本施策A～Hの満足度ポイントを下图に示します。

回答数の加重平均による満足度の評価とほぼ同様の結果であり、両者ともに満足度の指標としては妥当であるものと思われます。



基本施策39項目についての満足度ポイント評価を下图に示します。

施策項目ごとの評価も、荷重平均方式とほぼ同等の結果となっています。

